学校だより
みどりの
12月号

○考え伝え合う子
○心豊かな子
○元気な子
○やりぬく子

令和３年12月１日

感謝を伝えられる子に

校長　遠藤　昌司

去る１１月２０日、「みどりん花火２０２１」を予定通り開催することができました。会場を提供してくださった南林間中学校様・南林間小学校様をはじめ、企画・準備をしてくださった方、寄付・協力してくださった方、たくさんの方への感謝の気持ちを、子ども達は行動の中で見せてくれたと思います。夜間であることを弁えて静粛に歩行し、会場でも節度をもって観覧する姿はとても立派で、「ヨソ様」に恥ずかしくない振る舞いでした。

コロナ禍での困難に、いまださらされざるを得ない子ども達ですが、そんな状況にあっても、自分の周囲に対しての感謝を伝えられるように成長していってほしいと思います。

令和３年度　全国学力・学習調査から

５月に、文部科学省による「令和３年度　全国学力・学習状況調査」が６年生を対象に実施され、個人の結果は児童を通してすでに配付してあります。調査結果概況（国語、算数）と回答結果集計（児童質問紙）をもとに、緑野小学校の傾向についての分析をお知らせいたします。

（○：良好であった内容　●課題があった内容）

【国語】

○目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える

○資料を用いた目的を理解する　　ともに【話すこと・聞くこと】

●目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する　【書くこと】

⇒「話すこと・聞くこと」の正答率は、県・国の平均を大きく上回っている。後半の設問に対しての「無回答率」が県・国の平均より高いことは気になる点である。

【算数】

○速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる

○示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる

●二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる　いずれも【思考・判断・表現】

⇒算数は好きで内容もよく理解している（質問紙より）ことが全体的な正答率の高さにつながっている。「図形」問題の正答率は、県・国の平均を大きく上回っている。

【児童質問紙から】

朝食や睡眠時間など家庭での生活習慣が整っており、テレビゲーム等の時間についても過度な利用にはなっていない。家庭での蔵書は多いが読書時間が少ない。学校に行くのは楽しい。授業の中でＩＣＴ機器を使いこなしている。家庭学習の習慣はついている。英語が好きである。自身の良いところは認識しているが、将来の夢はまだ確定していない。社会のためにすべきことを考えている。